

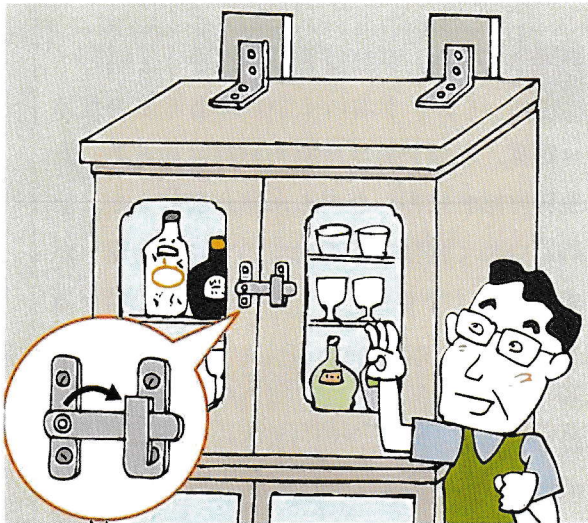


「強いわが家」に仕立てる

なにしろ“テレビが水平に飛ぶ！”というのです。建物に違いはあるにしても「震度7」級は7級。恐怖感を伴うものになるかもしれません。それだけに、「家財道具の固定」にはぬかりなく手を打っておきたいものです。あちらからこちらから智恵と経験の“妙案”を教えられました。

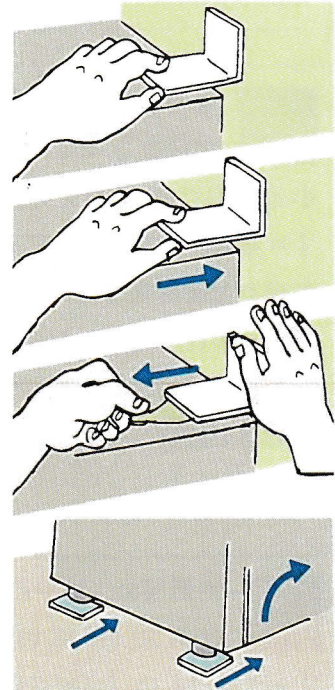
《家財の固定法あれこれ》

▶やっぱり「L字型の金具止め」がいいと思うが、素人には難しいので大工さんに依頼しました。タンスとサイドボード、テレビ、冷蔵庫の4点で13,000円程度でした。(地震学者のF教授)



▶ぎっしり詰め物をしたダンボール箱で天井と家具との空間を隙間なく埋めましたよ。思った以上に確りしてます。(地震学者のN教授)

▶いや、革命的に変わってきました。釘止めでも突っ張り棒でもない、特殊強粘着材(ゲル)と高強度合成樹脂材を組み合わせた接続器具(「ガムロック」など)が売られています。壁と家具の両方に貼り付けてただつなぐだけですが、強力なことこの上ない。ピアノ、タンス、書棚、冷蔵庫などの大物小物に広く対応し、付け替えも簡単。洗っても5年は持ちますしね。(大手ホームセンター長)



▶困るのは家具や壁に穴を開けられない、開けたくないケースです。その点、お勧めのステレオものが「粘着系の転倒防止器具やマット類」。それぞれが高い機能性を持った樹脂類と粘着材を素材にしている、合わないのは布製品、フッ素、シリコン製品ぐらいです。ていねいにさえやれば、貼ってはがすのも簡単で、綺麗に、しかも繰り返し使え、ビニールクロスなど壁紙類も傷めませんよ。

種類は豊富で「震度7対応」をうたったものもあります。守りたいものの荷重に合わせ、的確な数を使用してください。タンスなどの大物